

病害虫防除技術情報第8号

平成22年1月18日

三重県病害虫防除所

イチゴのうどんこ病が引き続き
多発しています。

- 1 対象作物 イチゴ
- 2 病害虫名 うどんこ病
- 3 発生状況 やや多

本年は、ビニール被覆後発生が増加し、12月11日付け防除技術情報第6号を発行し、防除を呼びかけたところですが、1月中旬現在、被害は抑えつつも多発の傾向にあります。

巡回調査結果(1月7~8日)

調査地点	発病株率(%)	発病果率(%)
津市芸濃町	0	0
津市一志町	0	0
松阪市曾原1	26	0
松阪市曾原2	4	0
松阪市藤之木町2	10	0
松阪市藤之木町3	0	0
度会町棚橋	0	0
伊勢市小俣町	4	0
玉城町勝田	10	0
志摩市阿児町	22	0.5
志摩市磯部町2	8	0
志摩市磯部町3	0	0
平均	7.0	0.04
平年	0.34 (6年平均)	0.11 (10年平均)

- 4 予想される向こう1か月の天候(1月15日発表)

平年と同様に晴れの日が多く、気温は平年並または高い確率ともに40%です。

- 5 本病の特徴

- (1) 病原菌の胞子の発芽適温は17~20℃前後です。
- (2) うどんこ病は乾燥、多湿のいずれの状態でも発生します。
- (3) 本病は活物寄生菌であるので、寄生された植物は急に枯死することはありませんが、果実は商品価値を失い、発生は拡大し大きな損失をまねきます。

6 防除対策

- (1) 発生が少ないうちに防除をしてください。
- (2) 完全に治癒していないと、再度発生し伝染源となることもあるので、発生した施設では注意深く観察を続け防除対策を続けてください。
- (3) 薬液がかかりやすくなるよう、ていねいに散布してください。
- (4) くん煙剤による防除も有効です。
- (5) 収穫までの日数やミツバチに対する影響に注意してください。
- (6) 農薬は、ラベルの表示を確認して正しく使用してください。